

- **Alt Block 1:** これは、非オーバーレイ各国間グループの文字セットにのみ使用可能なカスタマイズされたブロック文字セットです。
- **Scalable:** これらの拡張文字はエッジが丸くなっています。

最適化比率: このオプションでは、Code 39 およびインターリーブ 2/5 を含む特定のバーコードについて異なるバーコード比率を選択します。これは、IGP-X00 プリンターとの互換性のために組み込まれています。

- **Disable.** デフォルト。標準のバーコード比率を使用します。
- **Enable.** 代替バーコード比率を選択します。

ASCII プリンター・エミュレーション

このパラメーターは、次の ASCII プリンター・エミュレーションのいずれかをアクティブ・エミュレーションとして選択します。

- P-Series Emulation (デフォルト)
- P-Series XQEmulation
- Serial Matrix Emulation
- Proprinter III Emulation
- Epson Emulation

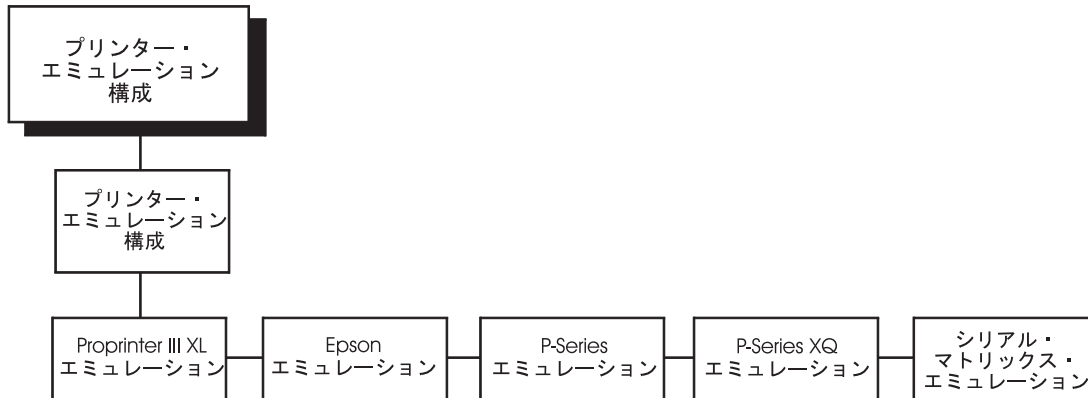
アクティブ・エミュレーションに関する構成は、プリンター・エミュレーション構成メニューから選択されます (144 ページに記述)。

プリンター・エミュレーション構成

このパラメーターは、ASCII プリンター・エミュレーションおよびページのフォーマット設定を構成します。次のサブメニューがあります (詳しくは、171 ページに説明されています)。

- Proprinter III Emulation (デフォルト)
- Epson Emulation
- P-Series Emulation
- P-Series XQEmulation
- Serial Matrix Emulation

プリンター・エミュレーション構成メニュー



オプションを表示するときに押します:

Scroll ↑ Scroll ↓ Enter Return

Enter

オプションを選択するときに押します:

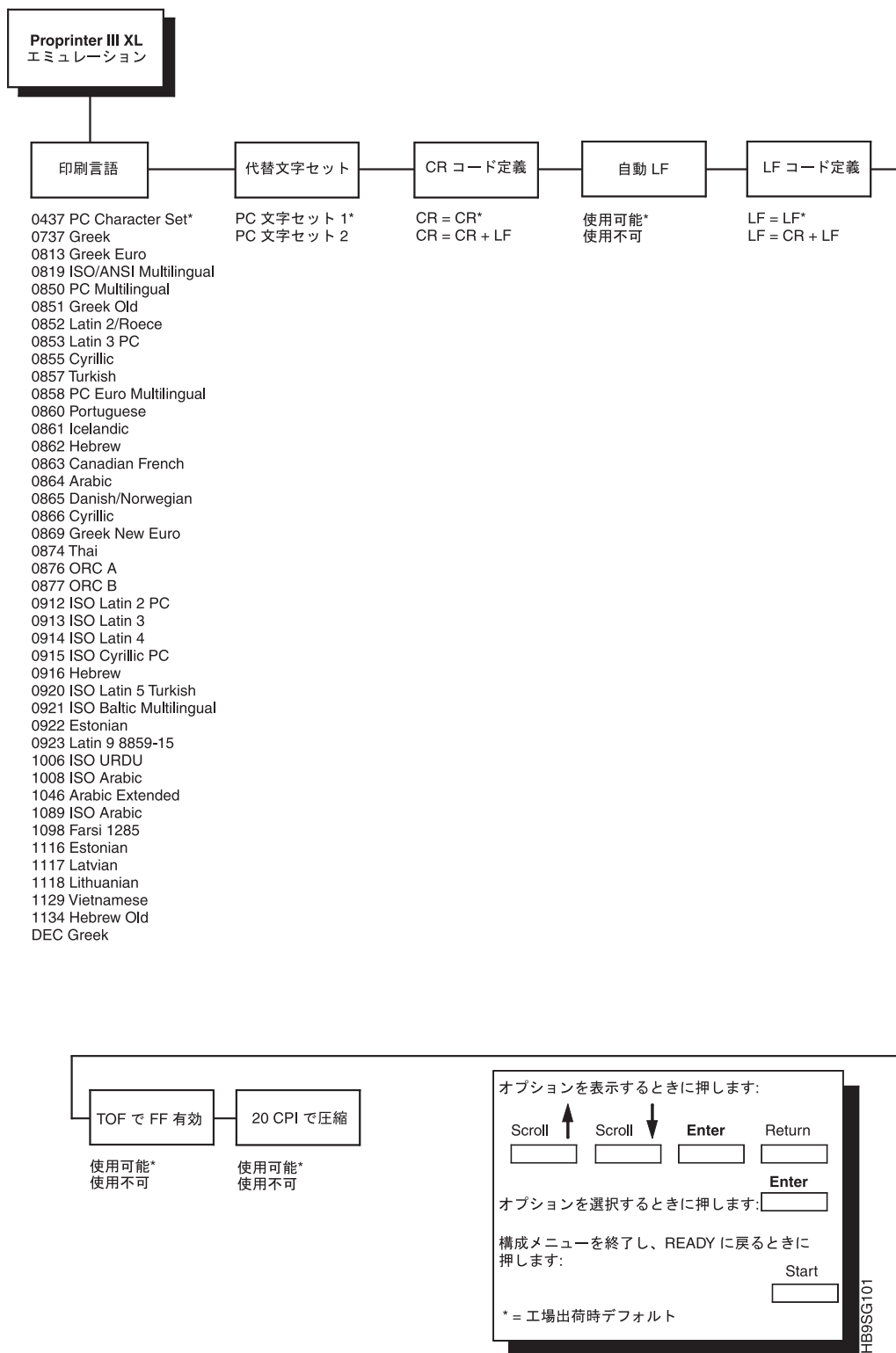
構成メニューを終了し、READYに戻るときに
押します:

Start

* = 工場出荷時デフォルト

HB99SG100

Proprinter III XL エミュレーション・メニュー:



印刷言語: 印刷言語は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

代替文字セット: 代替文字セット・コードを使用すると、基本文字と代替文字の両方を 1 つの行に使用できます。主文字セットは、行終了文字を受け取ったときに自動的に選択されます。

- **PC Character Set 1.** (デフォルト。) 80 ~ 9F の 16 進数の文字を制御コードとして選択します。
- **PC Character Set 2.** 80 ~ 9F の 16 進数の文字を印刷可能文字として選択します。

CR コードの定義 (復帰): このパラメーターは、プリンターに対し、復帰コードが発生するたびにデータ・ストリームに自動改行コードを挿入させます。これは、ホスト・コンピューターがプリンターに Line Feed (改行) を送らない場合のみ使用します。

- **CR = CR.** (デフォルト。) 改行を実行しません。次の印刷位置は現行行の印刷位置 1 になります。
- **CR = CR + LF.** 自動改行を実行します。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

自動 LF: このパラメーターは、テキスト行が右マージンを超えるときに、次の行へそのテキストを折り返すかどうかを決めます。

- **Disable.** CR または CR + LF を受け取るまで、右マージンを越えたテキストを切り捨てます。
- **Enable.** (デフォルト。) 印刷行が全部印刷された後に、自動的に CR + LF を挿入します。

LF コードの定義 (改行): このパラメーターは、プリンターに対し、改行コードが発生するたびにデータ・ストリームに自動復帰コードを挿入させます。これはほとんどの設置先で使用することができますが、ホスト・コンピューターがプリンターに復帰を送らない場合には、これが必須です。

- **LF = LF.** (デフォルト。) 自動復帰を実行しません。次の印刷位置は、次の行の現行印刷位置になります。
- **LF = CR + LF.** 自動復帰を実行しません。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

選択して使用するには、目的のグループの見出し (たとえば 0862 Hebrew) を選択して、Enter キーを押します。文字セットの詳細は、「*Character Sets Reference Manual*」を参照してください。

Epson 印刷言語: Epson 印刷言語は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

CR コードの定義 (復帰): Define CR Code オプションは、プリンターがホスト・コンピューターから復帰コード (0D 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターが復帰を受け取るたびに、プリンターは追加の改行コード (0A 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。ホスト・コンピューターがプリンターに改行を送る場合は、この機能を使用しないでください。

- **CR = CR。** (デフォルト。) 各復帰の後に追加の改行が挿入されません。
- **CR = CR + LF。** 各復帰の後に追加の改行が挿入されます。

自動 LF: このオプションは、印刷データが用紙幅設定を超えて受け取られたときのプリンター・アクションを定義します。

- **Enable。** (デフォルト。) 用紙幅を超えるデータが受け取られるときに、自動復帰および改行を実行します。
- **Disable。** 用紙幅を超えるデータを廃棄します。

LF コードの定義 (改行): Define LF Code オプションは、プリンターがホスト・コンピューターから改行コード (0A 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターは、改行を受け取るたびに、追加の復帰コード (0D 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。この機能は、ホスト・コンピューターがプリンターに復帰を送らない場合には、必須です。

- **LF = LF。** (デフォルト。) 改行に復帰を追加しません。
- **LF = CR + LF。** 各改行に追加の復帰を追加します。

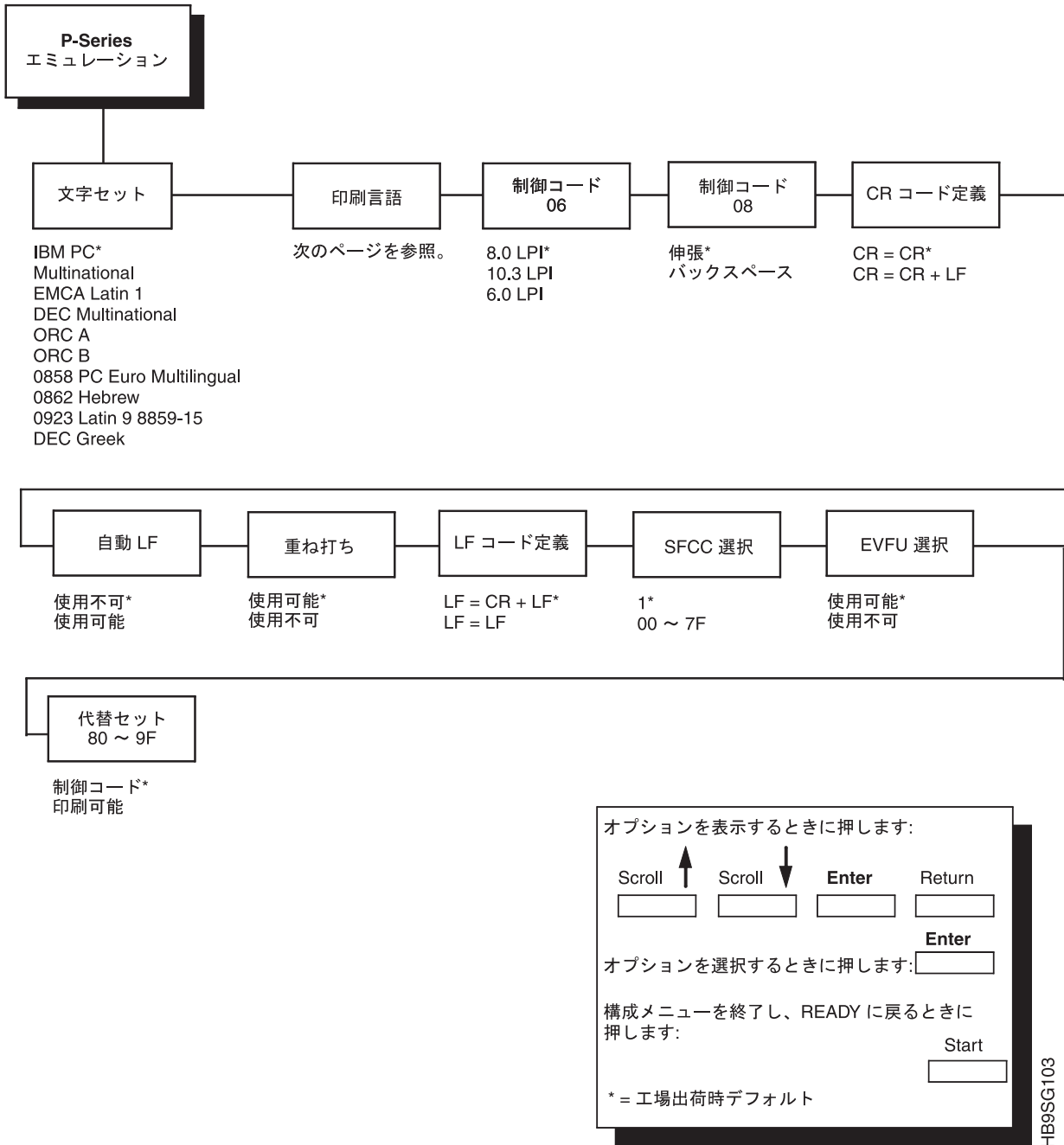
プリンター選択:

- **Disable。** (デフォルト。) ASCII DC1 および DC3 制御コードを無視します。
- **Enable。** DC1 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用不可にし、DC3 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用可能にします。

20 CPI 圧縮: 圧縮した印刷文字は、通常の文字セットよりも狭くなります。これは、1 ページに最大限の量の情報を印刷する必要があるアプリケーションで役に立ちます。

- **Enable。** (デフォルト。) ホスト・コンピューターが圧縮印刷を選択すると、通常の文字の約 60% の幅の文字を印刷します。たとえば、12 CPI Draft フォントは 20 CPI に圧縮されます。
- **Disable。** 圧縮印刷がホストによって選択されている場合でも、印刷幅を圧縮しません。

P-Series エミュレーション・メニュー:



印刷言語

IBM PC

基本サブセットの選択

ASCII (USA)

French

German

English (UK)

Danish

Swedish

Italian

Spanish

Japanese

French Canadian

Latin American

Danish II

Spanish II

Latin American II

拡張サブセットの選択

0437 PC Character Set

0850 PC Multilingual

Multinational

ASCII (USA)*

EBCDIC

EMCA Latin 1

基本サブセットの選択

ASCII (USA)*

German

Swedish

Danish

Norwegian

Finnish

English (UK)

Dutch

French

Spanish

Italian

Turkish

Japanese

拡張サブセットの選択

Multinational*

Barcode 10 CPI

Multinational DP 10 CPI

Multinational DP 12 CPI

Multinational NLQ 10 CPI

Greek DP 10 CPI

Greek DP 12 CPI

Graphic DP 10 CPI

Graphic NLQ 10 CPI

Scientific DP 10 CPI

Scientific DP 12 CPI

Scientific NLQ 10 CPI

DEC Multinational

ASCII (USA)*

French

German

English (UK)

Norwegian/Danish

Swedish

Italian

Spanish

Japanese

French Canadian

Finnish

Dutch

Swiss

HB9SG104

文字セット: 176 ページの『P-Series エミュレーション・メニュー』に従って、文字セットを指定します。文字セットを選択して使用するには、目的のグループの見出し (たとえば 0862 Hebrew) を選択して、「Enter」キーを押します。文字セットについて詳しくは、「*Character Sets Reference Manual*」を参照してください。

印刷言語: 印刷言語は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

制御コード 06: 制御コード 06 は、ASCII コードの 06 16 進数 (ACK) の機能を定義します。6、8、または 10.3 LPI の代替行送りの 1 つを選択できます。

制御コード 08: 制御コード 08 は、ASCII 16 進コードの 08 (BS) の機能を定義します。コードを定義して、伸長文字やバックスペースを出力できます。

CR コードの定義 (復帰): このオプションは、プリンターがホスト・コンピューターから復帰コード (0D 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターが復帰を受け取るたびに、プリンターは追加の改行コード (0A 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。ホスト・コンピューターがプリンターに改行を送る場合は、この機能を使用しないでください。

- **CR = CR。** (デフォルト。) 各復帰の後に追加の改行が挿入されません。
- **CR = CR + LF。** 各復帰の後に追加の改行が挿入されます。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

自動 LF: このオプションは、印刷データが用紙幅設定を超えて受け取られたときのプリンター・アクションを定義します。

- **Disable。** (デフォルト。) 用紙幅を超えるデータを廃棄します。
- **Enable。** 用紙幅を超えるデータが受け取られるときに、自動復帰および改行を実行します。これにより、余分なテキストは次の行に印刷されます。

重ね打ち: このオプションを使用すると太字印刷ができます。

- **Enable。** (デフォルト。) 太字印刷をオンにします。重ね打ちを使用可能にすると、プリンターの速度が遅くなります。
- **Disable。** 太字印刷をオフにします。

LF コード定義:

- **LF = CR + LF。** (デフォルト。) 各改行コマンドとともに自動復帰を強制します。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。
- **LF = LF。** 自動復帰を実行しません。次の印刷位置は、次の行の現行印刷位置になります。

SFCC 選択: このパラメーターを使用すると、Special Function Control Code (SFCC) コマンド区切り文字として使用する ASCII コードを選択できます。P-Series コードは、00 ~ 7F の 16 進数を使用します。次のオプションがあります。

- ESC (1B 16 進数)
- SOH (01 16 進数) (デフォルト)
- ETX (03 16 進数)
- CIRCUMFLEX (5E 16 進数) — 脱字記号 (^) とも呼びます。
- TILDE (7E 16 進数) — (~)

注: SOH、ETX、および ESC は印刷できません。(^\) および (~) の文字は印刷できませんが、どちらかを区切り文字として選択した場合は、ホスト・データ・ストリーム内でこれらを印刷可能文字として使用しないでください。使用すると印刷エラーが発生します。

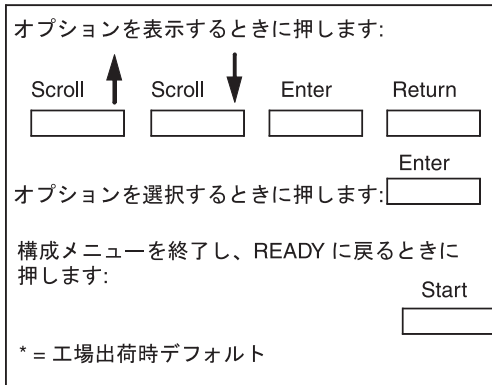
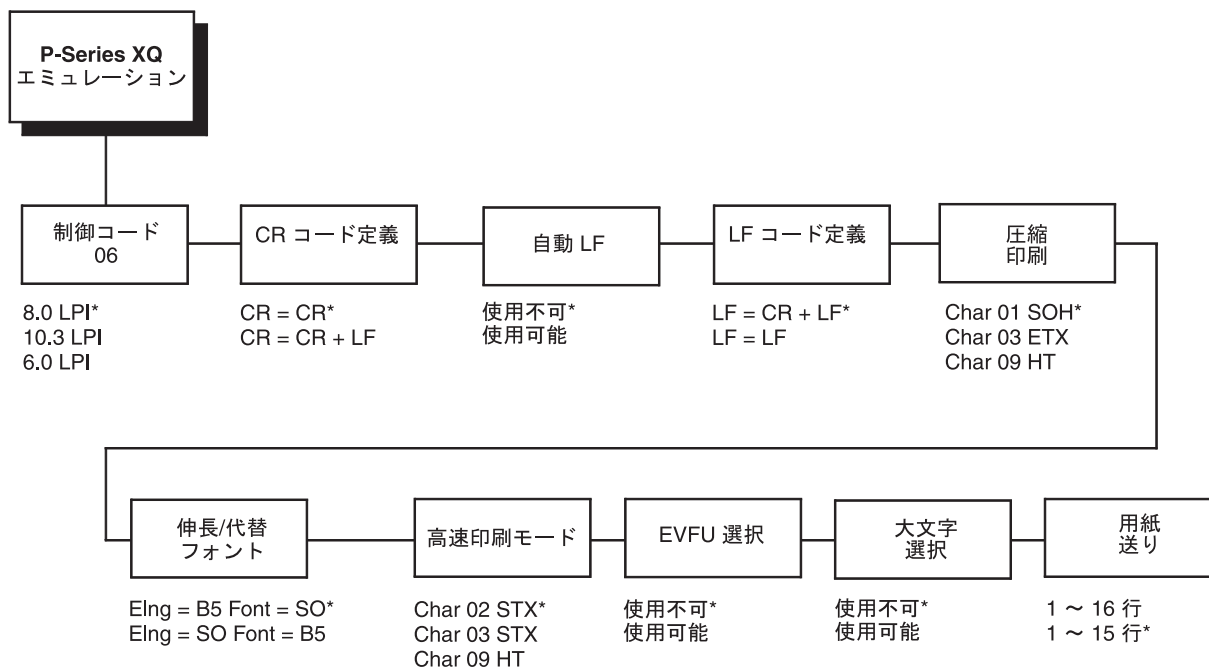
EVFU 選択: EVFU SELECT (電子式縦方向フォーマット単位選択) オプションは、EVFU スキップを定義することができるかどうかを判別します。EVFU スキップは、用紙を用紙上の特定の位置に移動するための命令です。詳しくは、「6400 ASCII Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Enable.** (デフォルト。) EVFU スキップを定義します。
- **Disable.** EVFU スキップを定義しません。

代替セット 80 ~ 9F:

- **Printable.** (デフォルト。) hex 80 ~ hex 9F の範囲のデータを印刷します。
- **Control Code.** hex 80 ~ hex 9F の範囲のデータを制御コードとして解釈します。

P-Series XQ エミュレーション・メニュー:



制御コード 06: 制御コード 06 は、ASCII コードの 06 16 進数 (ACK) の機能を定義します。6、8、または 10.3 LPI の代替行送りの 1 つを選択できます。

CR コードの定義 (復帰): このオプションは、プリンターがホスト・コンピューターから復帰コード (0D 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターが復帰を受け取るたびに、プリンターは追加の改行コード (0A 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。ホスト・コンピューターがプリンターに改行を送る場合は、この機能を使用しないでください。

- **CR = CR。** (デフォルト。) 各復帰の後に追加の改行が挿入されません。
- **CR = CR + LF。** 各復帰の後に追加の改行が挿入されます。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

自動 LF: このオプションは、印刷データが用紙幅設定を超えて受け取られたときのプリンター・アクションを定義します。

- **Disable**。(デフォルト。) 用紙幅を超えるデータを廃棄します。
- **Enable**。用紙幅を超えるデータが受け取られるときに、自動復帰および改行を実行します。

LF コードの定義 (改行):

- **LF = CR + LF**。(デフォルト。) 各改行コマンドを受け取ると自動復帰を強制します。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。
- **LF = LF**。各改行コマンドを受け取っても自動復帰をしません。次の印刷位置は、次の行の現行印刷位置になります。

圧縮印刷: どのホスト・コマンドが圧縮印刷を設定するかを定義します。

- Char 01 SOH (デフォルト)
- Char 03 ETX
- Char 09 HT

伸長/代替フォント: どのホスト・コマンドが伸長 (縦倍角) フォントおよび拡張文字セットを選択するか決定します。

- EIng=BS (hex 08) Font=SO (hex 0E) (デフォルト)
- EIng=SO Font=BS

高速印刷モード: どのホスト・コマンドが高速印刷を設定するかを定義します。

- Char 02 STX (デフォルト)
- Char 03 ETX
- Char 09 HT

EVFU 選択: EVFU SELECT (電子式縦方向フォーマット単位選択) オプションは、EVFU スキップを定義することができるかどうかを判別します。EVFU スキップは、用紙を用紙上の特定の位置に移動するための命令です。詳しくは、「6400 ASCII Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Enable**。(デフォルト。) EVFU スキップを定義します。
- **Disable**。EVFU スキップを定義しません。

大文字選択: ホスト・コンピューターから受け取られた小文字をプリンターがどのように扱うかを制御します。使用可能にされる場合、すべての文字は大文字で印刷されます。

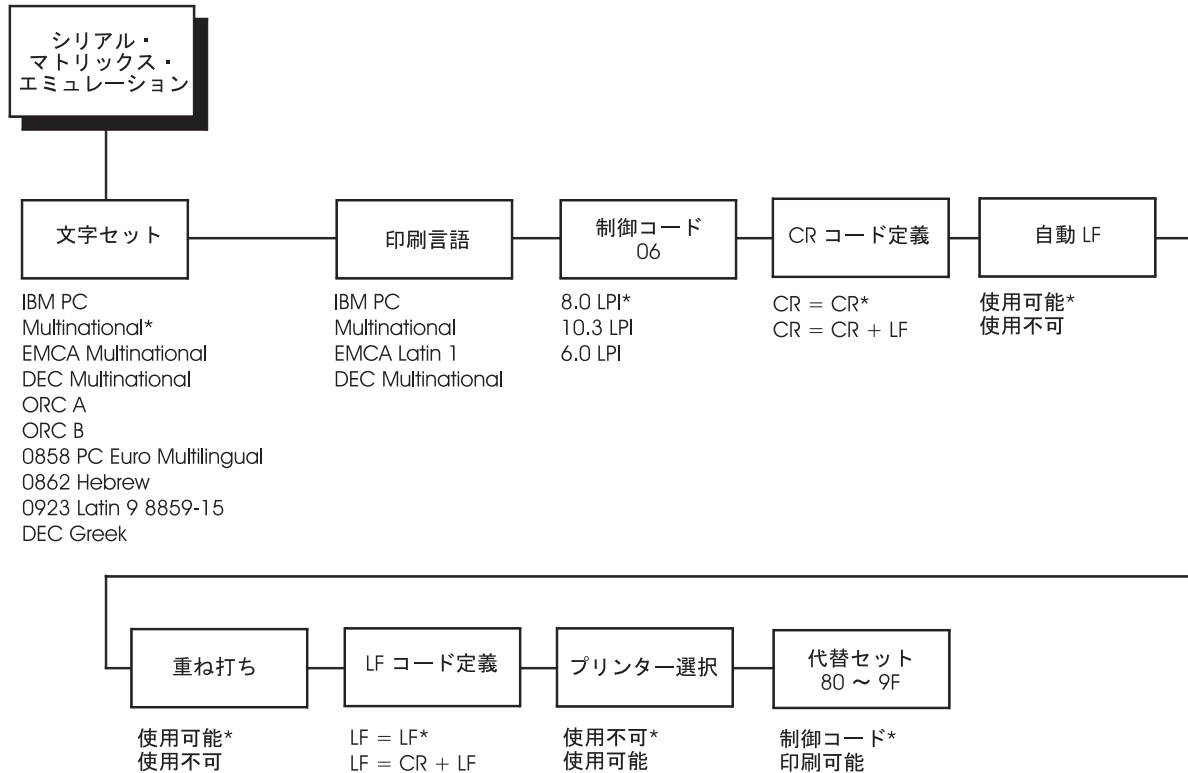
- **Disable**。ホスト・コンピューターから受け取られた小文字を小文字として印刷し、コンピューターから受け取られた大文字を大文字として印刷します。
- **Enable**。(デフォルト。) ホスト・コンピューターから受け取られた小文字を対応する大文字として印刷し、コンピューターから受け取られた大文字を大文字として印刷します。

用紙送り: 「Slewing」は、用紙の垂直方向のす早い移動を意味します。このオプションは、EVFU Slew Relative コマンドを受けたときに、用紙を進める行数を決定します。

- **1-16 Lines**。(デフォルト。) 1 ~ 16 行を送ります。

- **1-15 Lines.** 1 ~ 15 行を送ります。

Serial Matrix エミュレーション・メニュー:



オプションを表示するときに押します:

Scroll ↑ Scroll ↓ Enter Return

オプションを選択するときに押します: Enter

構成メニューを終了し、READYに戻るときに押します: Start

* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG106

文字セット: 上記のように、文字セットを指定します。文字セットを選択して使用するには、目的のグループの見出し (たとえば 0862 Hebrew) を選択して、「Enter」キーを押します。文字セットの詳細は、「Character Sets Reference Manual」を参照してください。

印刷言語: 印刷言語は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

制御コード 06: 制御コード 06 は、ASCII コードの 06 16 進数 (ACK) の機能を定義します。6、8、または 10.3 LPI の代替行送りの 1 つを選択できます。デフォルト値は 8 です。

CR コードの定義 (復帰): このオプションは、プリンターがホスト・コンピューターから復帰コード (0D 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターが復帰を受け取るたびに、プリンターは追加の改行コード (0A 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。ホスト・コンピューターがプリンターに改行を送る場合は、この機能を使用しないでください。

- **CR = CR。** (デフォルト。) 各復帰の後に追加の改行が挿入されません。
- **CR = CR + LF。** 各復帰の後に追加の改行が挿入されます。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

自動 LF: AUTO LF (自動改行) オプションは、印刷データが用紙幅設定を超えて受け取られたときのプリンター・アクションを定義します。

- **Enable。** (デフォルト。) 用紙幅を超えるデータが受け取られるときに、自動復帰および改行を実行します。
- **Disable。** 用紙幅を超えるデータを廃棄します。

重ね打ち: このオプションを使用すると太字印刷ができます。

- **Enable。** (デフォルト。) 太字印刷をオンにします。重ね打ちを使用可能にすると、プリンターの速度が遅くなります。
- **Disable。** 太字印刷をオフにします。

LF コードの定義 (改行):

- **LF = LF。** (デフォルト。) 各改行コマンドを受け取っても自動復帰をしません。次の印刷位置は、次の行の現行印刷位置になります。
- **LF = CR + LF。** 各改行コマンドを受け取ると自動復帰を強制します。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

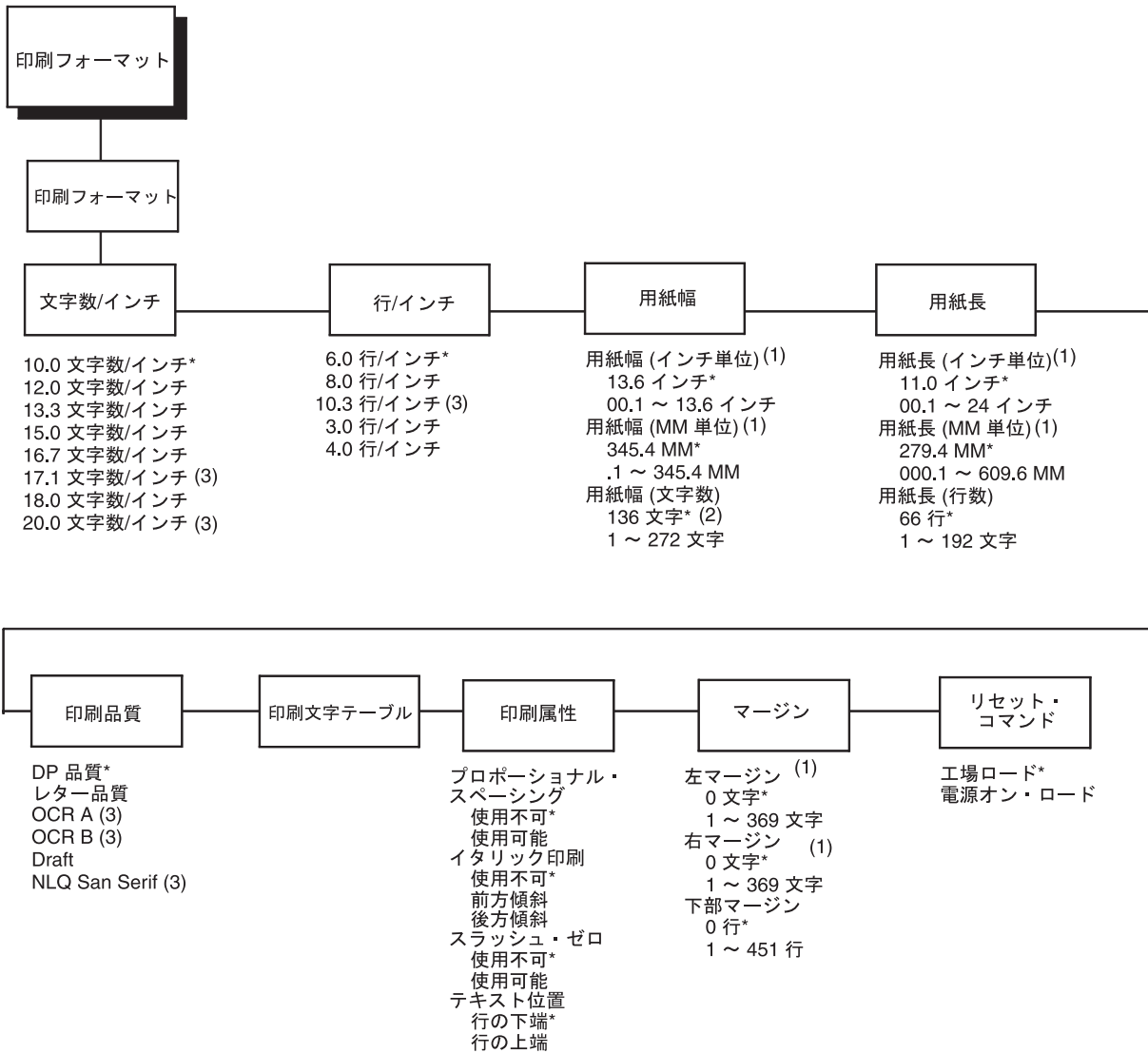
プリンター選択:

- **Disable。** (デフォルト。) ASCII DC1 および DC3 制御コードを無視します。
- **Enable。** DC1 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用不可にし、DC3 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用可能にします。

代替セット 80 ~ 9F:

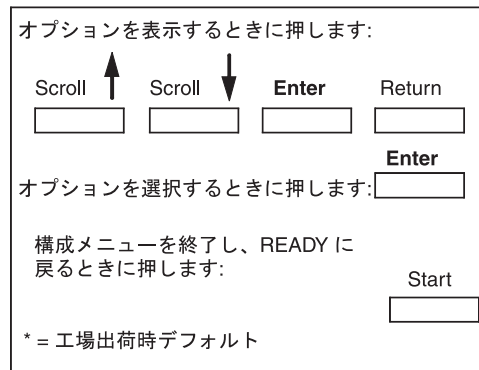
- **Control Code。** (デフォルト。) hex 80 ~ hex 9F の範囲のデータを制御コードとして解釈します。
- **Printable。** hex 80 ~ hex 9F の範囲のデータを印刷します。

印刷フォーマット・メニュー:



注:

- (1) 同軸/平衡型エミュレーションを選択すると、これらの変数は使用できません。
- (2) 同軸/平衡型について 136 文字を超える文字数での用紙幅を選択するには、最初に最大印刷可能幅を 13.6 インチに変更する必要があります。
- (3) IPDS には該当しません。



文字数/インチ: CHARACTERS PER INCH (CPI) は、水平方向の 1 インチ当たり
に印刷される文字数を指定します。

- 10.0 CHARACTERS PER INCH (デフォルト)
- 12.0 CHARACTERS PER INCH
- 13.3 CHARACTERS PER INCH
- 15.0 CHARACTERS PER INCH
- 16.7 CHARACTERS PER INCH
- 17.1 CHARACTERS PER INCH
- 18.0 CHARACTERS PER INCH
- 20.0 CHARACTERS PER INCH

ページ幅が最大物理ページ幅を超えるような CPI 値を指定することが可能です。この場合、プリンターは自動的にページ幅を、新しい CPI について有効な最高値に変更します。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択される場合、このパラメーターには 10 CPI のみが使用可能です。異なる CPI 値を希望する場合は、印刷言語を最初に変更する必要があります。

注: CPI 値を指定するデータ・ストリーム制御コードを受け取ると、オペレーター・パネルを介して入力された値は指定変更されます。

行/インチ: LINES PER INCH (LPI) は、縦方向の 1 インチあたりに印刷される行数を指定します。

- 6.0 LINES PER INCH (デフォルト)
- 8.0 LINES PER INCH
- 10.3 LINES PER INCH
- 3.0 LINES PER INCH
- 4.0 LINES PER INCH

ページ長が最大可能なページ長を超えるような LPI 値を指定することは可能です。この場合、プリンターは自動的にページ長を、新しい LPI について有効な最高値に変更します。

注: LPI 値を指定するデータ・ストリーム値を受け取ると、オペレーター・パネルから入力された値は指定変更されます。

用紙幅: FORMS WIDTH は、用紙幅を、インチ、ミリメートル、あるいは文字数で指定します。3 種類の単位はすべて同じ構成パラメーターを更新します。用紙幅のデフォルト値は 13.6 インチ、345.4 mm および 136 文字です。

注: P-Series、同軸/平衡型、IGP、Code V、または IPDS が取り付けられている場合の用紙幅のデフォルト値は、13.2 インチ、335.5 mm、および 132 文字です。

FORMS WIDTH IN INCHES および FORMS WIDTH IN MM の選択肢は、同軸/平衡型または IPDS エミュレーションでは使用できません。同軸/平衡型および IPDS エミュレーションで使用できる唯一の変数は FORMS WIDTH IN CHARACTERS です。

用紙幅を指定する 3 種類の方法について、次のように説明します。

- FORMS WIDTH IN INCHES では、用紙幅をインチで入力することができます。有効な値は、0.1 インチの増分で 00.1 ~ 13.6 インチの範囲です。
- FORMS WIDTH IN MM では、用紙幅をミリメートルで入力することができます。有効な値は、1 ミリメートルの 1/10 (0.1 mm) の増分で .1 ~ 345.4 の範囲です。
- FORMS WIDTH IN CHARACTERS では、用紙幅を文字数で入力することができます。文字数での最大用紙幅は現行の CPI 設定によって決まります。これは、インチ数での最大用紙幅に現行の CPI 設定を乗じた値に等しくなります。
- たとえば、10 CPI では最大用紙幅は次のとおりです。

10 CPI x 13.6 インチ = 136 文字。

有効な用紙幅のみが受け入れられます。現行の CPI について最大幅より大きい幅が選択される場合には、最大幅が使用されます。それより大きい幅の値を希望する場合には、CPI 値を最初に変更する必要があります。

注: 同軸/平衡型について 132 文字を超える文字数での用紙幅を選択するには、最初に最大印刷可能幅を 13.6 インチに変更する必要があります。

ページ幅を変更する制御コードを受け取ると、オペレーター・パネルを介して前に指定してあったページ幅は指定変更されます。

次の表は、所定の文字数/インチ (CPI) 設定について印刷された文字の最大数をリストしています。

CPI 設定	最大用紙幅 (文字数)
10.0	136*
12.0	163
13.3	181
15.0	204
16.7	227
17.1	232
18.0	245
20.0	272
* = デフォルト	

重要: 用紙幅が文字数で設定され、CPI が変更される場合、有効なページ幅は用紙幅を新しい CPI で割った数に等しくなるように変更されます。たとえば、現行の用紙幅が 132 文字で、CPI が 10 CPI から 15 CPI に変更される場合、有効な用紙幅は 13.2 インチから 8.8 インチに変更されます。

注: これは、用紙幅が文字数で設定される場合にのみ適用されます。用紙幅がインチまたはミリメートル (mm) で設定される場合、CPI を変更しても有効な用紙幅には影響を与えません。

用紙長: FORMS LENGTH は、用紙長をインチ、ミリメートル、または行数で指定します。3 種類の単位はすべて同じ構成パラメーターを更新します。用紙長のデフォルト値は、1 ページ当たり 11 インチ、279.4 ミリメートル、または 66 行です。

用紙長を指定する 3 種類の方法について、次のように説明します。

注: 行数が実際のインチまたは mm の値を超える場合があるので、インチおよび mm で設定された用紙長について表示される実際の値は、オペレーター・パネルにリストされている最大値より大きくなることがあります。

FORMS LENGTH IN INCHES および FORMS LENGTH IN MM の選択は、同軸/平衡型または IPDS エミュレーションでは使用できません。同軸/平衡型および IPDS エミュレーションで使用できる唯一の変数は FORMS LENGTH IN LINES です。

- FORMS LENGTH IN INCHES では、用紙長をインチで入力することができます。有効な値は、0.1 インチの増分で 00.1 ~ 24 インチの範囲です。(このオプションは、同軸インターフェースでは使用できません。)
- FORMS LENGTH IN MM では、用紙長をミリメートルで入力することができます。有効な値は、1 ミリメートルの 1/10 (0.1 mm) の増分で 000.1 ~ 609.6 mm の範囲です。(このオプションは、同軸インターフェースでは使用できません。)
- FORMS LENGTH IN LINES では、用紙長を行数で入力することができます。行数での最大用紙長は、現行の LPI 設定によって決まります。これは、インチ数での最大用紙長に現行の LPI 設定を乗じた値に等しくなります。
たとえば、6 LPI では、最大用紙長は次のようになります。

6 LPI x 24 インチ = 144 行

有効な用紙長の値のみが受け入れられます。現行の LPI についての最大長より大きい長さを選択する場合は、最大長が使用されます。それより長いページ長が必要な場合は、最初に LPI を変更する必要があります。

重要: 用紙長が行数で設定され、LPI を変更する場合、有効なページ長は、文字数での用紙長を新しい LPI で割った長さに変更されます。たとえば、現行の用紙長が 66 行であり、LPI を 6 LPI から 8 LPI に変更する場合には、有効用紙長は 11 インチから 8.25 インチに変更されます。

注: これが適用されるのは、用紙長が行数で設定されている場合のみです。用紙長がインチまたはミリメートルで設定される場合、LPI を変更しても有効な用紙長には影響を与えません。

用紙長を変更するデータ・ストリーム制御コードを受け取ると、オペレーター・パネルを介して前に指定してあった用紙長は指定変更されます。

印刷品質:

注: 太字または強調された印刷を使用しているときは、プリンターは 1 ドットの代わりに 2 ドットを印字して、希望する効果を生じます。これは文字数/インチには影響を与えません。

このパラメーターは印刷の密度 (品質) を指定します。

- DP Quality (デフォルト)
- Near Letter Quality
- OCR A

- OCR B
- Draft
- NLQ Sans Serif

注: 印刷品質を変更するデータ・ストリーム制御シーケンスを受け取ると、オペレーター・パネルを介して指定された印刷品質は指定変更されます。

OCR A または OCR B の印刷品質 を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されるとき、このパラメーターに使用できる値は OCR A/OCR B のみです。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

印刷文字テーブル: このパラメーターは、現行のインターフェース文字セットのテーブルを印刷します。

印刷属性: PRINT ATTRIBUTES パラメーターは、文字およびページ・フォーマット設定を決定するために使用されます。

- PROPORTIONAL SPACING は、使用可能にされたときは、テキスト・データにプロポーショナル・スペーシングを使用します。

DISABLE がデフォルトです。

ENABLE では、テキスト・データにプロポーショナル・スペーシングを使用します。

注: プロポーショナル・スペーシングは、10 CPI でのみサポートされます。したがって、10 CPI を選択する必要があります。そうしないと、プロポーショナル・スペーシングは無視されます。

- ITALIC PRINT は、使用可能にされたとき、テキストをイタリックで印刷します。前方傾斜と後方傾斜の両方のイタリックが使用できます。

DISABLE がデフォルトです。

FORWARD SLANT は、前方傾斜のイタリック体を使用します。

BACKWARD SLANT は、後方傾斜のイタリック体を使用します。

- SLASHED ZERO 使用可能のときはゼロにスラッシュを重ねて印刷し、ゼロをアルファベットの大文字「O」と区別します。

DISABLE がデフォルトです。

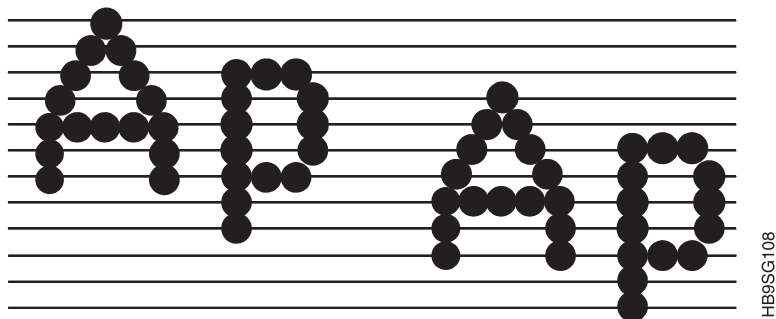
ENABLE では、ゼロにスラッシュを重ねて印刷します。

- TEXT POSITION では、行スペースの中でテキストをどこに配置するか指定します。行の上端に設定されると、テキストは行スペースの上部に配置されます。行の下端に設定されると、テキストは 6 lpi 行スペースの下部にあるかのように配置されます。

BOTTOM OF LINE がデフォルトです。

TOP OF LINE

次の例は、6 LPI 行送りについて行の上端と行の下端の両方のテキスト位置を示しています。



マージン:

注: LEFT MARGIN および RIGHT MARGIN 選択は、同軸/平衡型エミュレーションでは使用できません。同軸/平衡型エミュレーションで使用できる唯一の変数は BOTTOM MARGIN です。

MARGINS パラメーターは、下部、左、および右のページ・マージンがどこに位置するかを定義します。

- LEFT MARGIN は、印刷位置 1 がどこに位置するかを定義します。左マージンは、用紙の左端からの文字数として指定されます。有効値の範囲は 0 ~ 369 文字です。デフォルトは 0 文字です。
- RIGHT MARGIN は、最後の印刷位置がどこに位置するかを定義します。右マージンは、用紙の右端からの文字数として指定されます。有効値の範囲は 0 ~ 369 文字です。デフォルトは 0 文字です。
- BOTTOM MARGIN は、ページ上の最後の印刷行の位置を定義します。下部マージンは、用紙の下部位置からの行数として指定されます。有効値の範囲は 0 ~ 451 行です。デフォルトは 0 行です。

リセット・コマンド: Reset コマンドでは、リセット・コマンドが出された後にプリンターによって使用される構成を指定します。

- Load Factory は、プリンターに使用する工場出荷時のデフォルト構成をロードします。これはデフォルトの選択肢です。
- Load Power On は、プリンターに使用する選択された電源オン構成をロードします。

印刷フォーマット

このパラメーターは、ページ・フォーマット設定を構成します。サブメニューの説明については、185 ページ以降に記載されています。